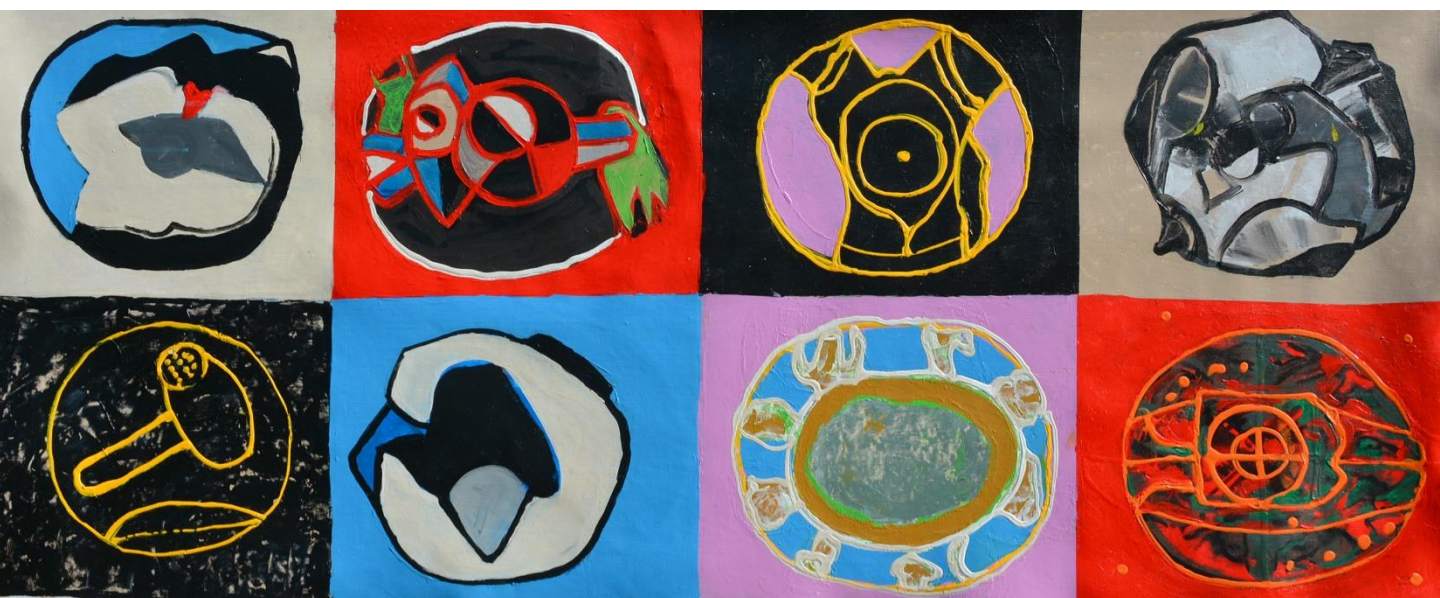


D N L シ リ ー ズ

宇津宮 功 展

I S A O U T S U M I Y A



2026/ 5 / 9 (土) ~ 5 / 23 (土)

会 場：十文字チキンアンバーホール（久慈市文化会館）3F展示室
時 間：5 / 9 (土) ~ 10 (日) 9 : 00 ~ 18 : 00
5 / 11 (月) ~ 23 (土) 9 : 00 ~ 15 : 00
休館日：毎週火曜日

主催：久慈市教育委員会
問い合わせ：十文字チキンアンバーホール TEL：0194-52-2700
〒028-0051 岩手県久慈市川崎町17-1

宇津宮 功 UTSUMIYA ISAO

1945年盛岡市に生まれる。

1967年武蔵野美術大学造形学部卒業と同時に渡仏、2年間パリ美術学校のサンジェ氏のアトリエに在籍、以来パリに居住し現在に至る。渡仏翌年の1968年にグランプリ・ド・パーク（ニース）にて、いち早く受賞。1971年にベルギーの国際ピエンナーレで〈ヨーロッパ賞〉銀賞、1973年には銅賞を連続受賞して注目を集める。

日本では1972年、東京・京都両国立近代美術館で開催された〈日本人ヨーロッパ作家展〉への招待出品以降、招待個展も各地で数多く開催されている。

1979年、カーニュ、シュメールでの第11回国際絵画フェスティバルでは、日本代表として参加出品。渡欧30年余、常に第一線の国際作家として活動を展開している。

1981年に受賞したヴィトリー賞は、現代美術の蒐集で有名なヴィトリー氏が全国を対象に、主催・制定したもので、ヴィエンナーレ形式（隔年）で二人ずつの作家に与えられるフランス現在美術界では大変名誉のある賞である。

主にパリでは、リブゴージュ画廊、ユニベルシティ画廊、オーデルマット画廊、ロオーユ・ド・ブッフ画廊で展示。83、84、85年とFIAC国際海外見本市に出品、毎年サロン・ド・メイに招待出品している。

1999年久慈市文化会館の開館を記念し、壁画（3m×7m）を制作、完成。

2000年以降、フランス・ボンピドゥー現代美術館をはじめ、岩手県立美術館や萬鉄五郎美術館、石神の丘美術館などで個展を開催している。

宇津宮氏の近作の一貫したテーマは「生物圏保護区」と題され、浮動する画像、種々の色に染められた身体とマスクは、生物圏保護区にあって、常に変動する独創的存在の至福状態を現わしている。本作は「生物圏保護区」の257作目となる。



生物圏保護区 No.257（アンバーホール大ホールホワイエ）

パブリックコレクション

オスタンド美術館（ベルギー）、ヴェラ・リュカ美術館（ユーゴスラビア）、モンス美術館（ベルギー）、フランス国立図書館（フランス）、フォンドション・ヴィトリー（フランス）、セレス・フランコ美術館（フランス）、第一次世界大戦連合軍サークル（フランス）、バージュ市（フランス）浜松市美術館（静岡県）、岩手県立美術館（岩手県）、久慈市文化会館（岩手県）、石神の丘美術館（岩手県）